

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 ( 令和8年3月 )

情報連絡員数	40 名	回答者数	40 名	回答率	100.0 %
--------	------	------	------	-----	---------

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製 造 業	食 料 品	0	4	0	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0			
	織 維 工 業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	1	2	0	1	2	0	2	1	0	3	0	0	1	2			
	木 材・木 製 品	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1			
	紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
	化 学・ゴ ム																														
	窯業・土石製品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1			
	鉄 鋼・金 属	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
	一 般 機 器	2	1	0	1	2	0	3	0	0	0	3	0	2	1	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	1	2	0			
	電 気 機 器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
	輸 送 機 器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0			
	そ の 他																														
<b>小 計</b>		<b>4</b>	<b>12</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>11</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>16</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>9</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>15</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>18</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>13</b>	<b>6</b>			
非 製 造 業	卸 売 業	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	X			0	2	0	0	1	1			
	小 売 業	1	3	2	0	5	1	3	3	0	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2			
	商 店 街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0			
	サ ー ビ ス 業	1	3	0	X			1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1			
	建 設 業	0	2	2				2	2	0	0	2	2	0	2	2	0	2	2				0	3	1	0	3	1	0	2	2
	運 輸 業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	0	1
	そ の 他	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0
<b>小 計</b>		<b>2</b>	<b>14</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>17</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>13</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>19</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>13</b>	<b>7</b>						
<b>合 計</b>		<b>6</b>	<b>26</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>20</b>	<b>6</b>	<b>17</b>	<b>22</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>33</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>22</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	<b>31</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>37</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>26</b>	<b>13</b>			

## 最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和7年3月～令和8年3月)

三重県中小企業団体中央会

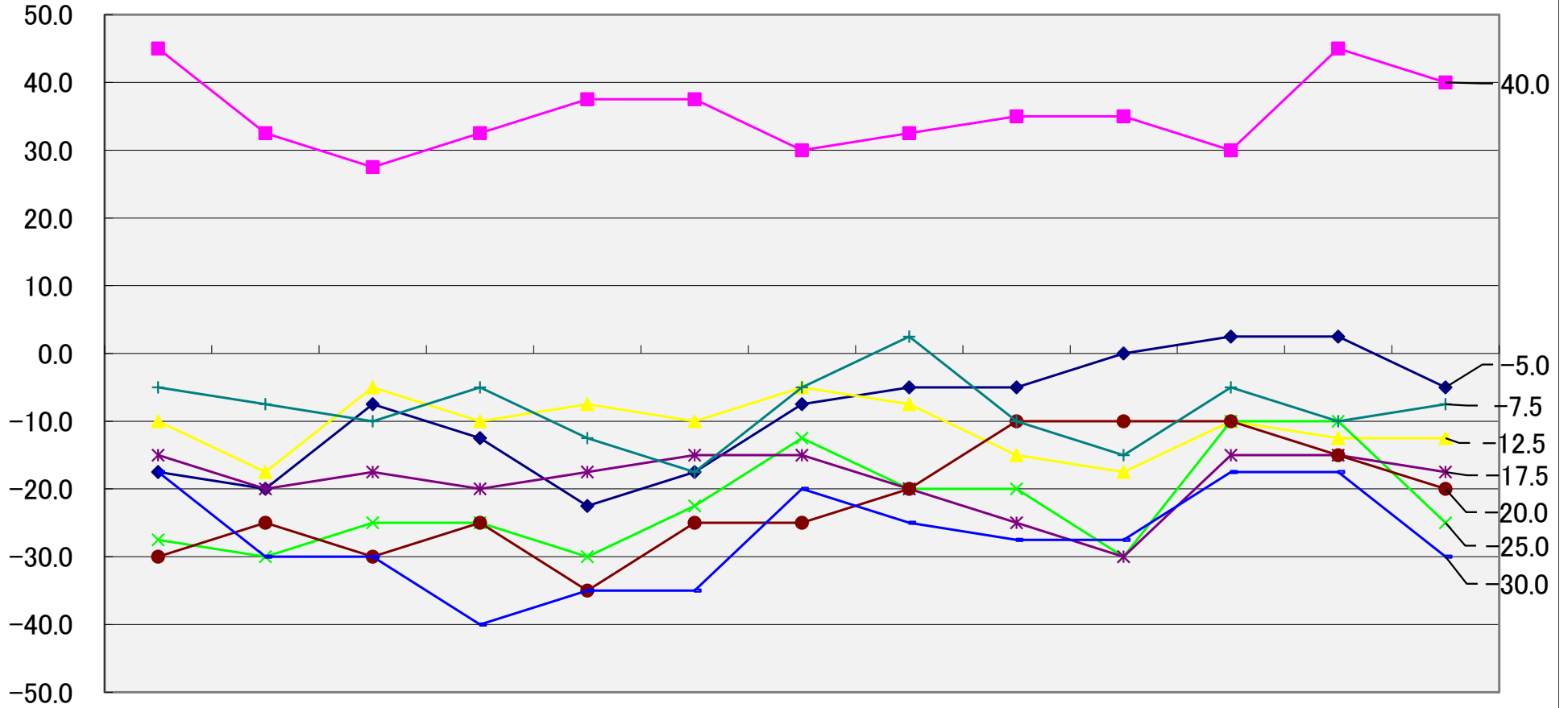
連絡員総数 40名

	7/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8/1月	8/2月	8/3月	増減
売上高	-17.5	-20.0	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5	-5.0	-7.5
販売価格	45.0	32.5	27.5	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	35.0	35.0	30.0	45.0	40.0	-5.0
取引条件	-10.0	-17.5	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-17.5	-10.0	-12.5	-12.5	0.0
収益状況	-27.5	-30.0	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	-25.0	-15.0
資金繰り	-15.0	-20.0	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-30.0	-15.0	-15.0	-17.5	-2.5
設備操業度	-30.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	-10.0	-10.0	-15.0	-20.0	-5.0
雇用人員	-5.0	-7.5	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-7.5	2.5
業界景況	-17.5	-30.0	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-27.5	-17.5	-17.5	-30.0	-12.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移

7/3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 8/1月 8/2月 8/3月



◆ 売上高
 ■ 販売価格
 ▲ 取引条件
 × 収益状況
 ✱ 資金繰り
 ● 設備操業度
 + 雇用人員
 — 業界景況

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がり経営を圧迫する状態が続いている。昨年から米の価格高騰の影響により米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。また、新年度の通常総会を5月13日に津市において開催を予定している。更に中央会の事業を活用し、5月20日に鈴鹿市でAI活用に関する研修会を開催の予定である。新年度からは、事務局を新しい方と交代する予定である。	
	醤油味噌	2月末に発生したアメリカ・イスラエルのイランへの攻撃により中東情勢が一気に緊迫化した。ホルムズ海峡の封鎖により日本への原油の輸送が滞り、供給と価格に大きな不安が出てきた。国は、政府備蓄を放出し始めたが、石油化学製品は燃料にとどまらず生活必需品のあらゆるものの原料となっているので影響が不安である。組合員の中には重油の供給が止まったためボイラーが動かせず生産に影響がでた事業者もいる。これから醤油の仕込みが本格化する時期にエネルギーコストや原材料価格など広範なコストアップで事業者の収益を圧迫しそうである。	
	他に分類されない食料品 製造業	中東での戦闘で引き起こされたガソリン高騰が事業継続にも影響する。政府の努力もあってか今は落ち着いたかに見えるが、また、いつ高騰するか心配だ。学校給食は生徒数減少と過疎地域にも届けるのでガソリン高騰はぜひ避けたい。	
	製麺	3月に会合を行い、来年度の事業の打ち合わせをした。GIについて、東海農政局より説明を聞き、今後の進め方を検討していく。5月に総会を開催する予定と11月に三重県で開催する東海ブロック会議で株式会社キンレイ亀山工場の見学をすることに決定した。今回の役員人事は、引き続き継続する予定である。	
繊維工業	テントシート	当業界においても中東情勢の悪化に伴い、石油化学製品の価格上昇及び供給不足は必至となっている。	
木材・木製品	木材	円安、建設コスト、輸送コスト、燃料費の高騰等もあり、国産材製品の荷動きが低調な中、コストに見合った価格転嫁が進んでいない。	
	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題であり、また、従業員の確保が困難である。機械や消耗品等、修理費の価格が高い。	
製 造 業	紙・紙加工品	古紙	3月の仕入れ量は段ボール・約96±3%位、新聞、チラシ・約89±4%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約93±3%であった。紙・板紙の原紙の値上げはユーザーからやっと4月以降に徐々に合意が得られているようだが、やはり紙製品の軽量化・薄物化と生活必需品の消費そのものが減り、合わせて激減の前年比マイナス成長である。これからは三重県内組合員の古紙集荷量は増えるグループと減るグループの2極化となり、前年比大幅ダウンの組合員は厳しい経営状態が続く、これからも同じ状況かと思われる。春闘で18,000円程の賃金上昇分と最低賃金もUPで経営者には更に大きな負担となっている。アメリカとイランの戦争で原油高騰やドル円為替レートや株価が乱高下しても、日本の品質の良い古紙は、紙の組成がパルプと顔料の複合体に変化していても国際相場から見るとお値打ちだと考えられる。古紙や古着・金属の持ち去りやゴミ等の置き去り行為も無くならず、名古屋は4月から6カ月後の10月1日から刑事罰になる。古紙持去りの法律制定も登録制の運用となるが、回収業者の売り買いや下店や代納業者によるロンダリング取引を警察が取り締まれる法的根拠が出来て、古紙業界から明瞭で分かり易い業界の姿勢が示されて、将来は更により良い業界になることを期待する。
	印刷	印刷	3月期において、印刷発注量は昨年比で減少傾向にある。組合加入のメリット以上に経費削減を優先するなど、退会・廃業を含め、同月末で組合員の退会が7社あり41社まで減少した。このことから今後の組合運営において厳しさを増すことになったのと、組合加入のメリットをどう感じてもらえるか、また組合協約にしても、締結を行って同じ製品を納めるようなことがないためそのような協約もメリットにならない。特定技能士については、全日本印刷工業組合連合会傘下の組合に加盟する条件があるが、人材不足が進むことが予測されるなか、これが大きなメリットになるか様子見ではある。
	窯業・土石製品	伊賀焼	アメリカ、イスラエルとイランの戦争で原油高騰による経済に与える影響は大きく一日でも早く終息してほしいと思う。これからの日本経済が安定することを願う。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、引き続き堅調な状況である。中心は自動車車載部品関係で、とくにEV関連の受注が好調である。ただ、不透明な中東情勢の影響により材料費をはじめとする経費の高騰により収益が圧迫される可能性が懸念される。	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
一般機器	四日市市	仕入れ価格の高騰は依然として続いている。中東の混乱により部材の供給不安があちこちから聞こえてくるが供給が止まらないことを願うばかりである。人材も相変わらず採用につながっていない。人件費、社会保険料の高騰も問題に感じる。
	津市	3月は決算期もあり、全体的に受注は高く、売上は伸びたが、4月はその反動で少なくなるため対応に苦慮している。また、半導体不足や米国とイランの戦争も今後どのような影響が出てくるか見通せない。すでに加工油の一部や包装資材の出荷制限、大幅な値上げの所も出てきているため、この値上げ分の転嫁ができるのか不安である。
	伊勢市	製造業の稼働率は上昇している。年度末の影響もあるのか、3月になって急に上昇した。新しい高市政権の経済対策の影響とも思えないが、自動車関連も工作機械関連も増加してきたと感じている。イランでの軍事衝突・戦争もそれほどの影響はないが長引けば気がかりになる。
電気機器	鳥羽市	今期末は今までにない最悪な受発注量で前期に比べ55%ダウンで危機的な状況が続いている。組合員は雇用調整助成金の申請をしている。
輸送機器	伊勢市	受注は自動車部品、一般機械器具ともに昨年比で増加した。採算面では、新規受注等での寄与に加え、既存品でも利益が好転した。資金繰り面では、取適法の施行により、支払サイトの短縮を余儀なくされ、資金負担は増加しているが、現状は若干の逼迫で推移した。本年も昨年に続き、賃上げ要求は高く、人件費の増加は必至、加えて、中東情勢の不透明感が増加し、長期化見込からエネルギー価格高騰など、今後の収益環境の悪化が予測される。
	青果	【野菜前半】冬から春への品種の切替わりで一時的に少なくなる物もあるが順調に入荷している。静岡産新タマネギは出荷の最盛期に鹿児島産の新ジャガイモも最盛期で皮が薄く柔らかいのでむかずに調理すると風味も良い。徳島産新ニンジンも本格的に出荷が始まり生でもおいしい。タケノコも徐々に増えてきた。兵庫、静岡、茨城産のレタスがお買得になってきた。【野菜後半】春野菜も出そろってきて全体的に数量も増え、特に昨年不作だった県内産タケノコは今年は順調に入荷している。今が旬のフキの入荷も増えている。地場産のホウレン草、ブロッコリーもお買得になっている。熊本、愛知産のミニトマトも値下がりしてきた。【果物前半】県内産イチゴは昨年並みの入荷で価格は横ばい、味も良く今がお買い得である。柑橘類はデコポン、甘夏、八朔、せとか等の露地物がピークでお手頃価格になっている。熊本産ハウススイカが少しずつ入荷が増えてきた。【果物後半】デコポン、せとか、甘夏などの露地物が出荷のピークになり、また、県内産のサンフルーツ、セミノール、カラの入荷も始まりいろいろと食べ比べが可能である。熊本産ハウスのスイカは生育が早めで多く出回っており、甘くておいしい。青森産リンゴ、サンつがるは高値が続いている。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
小売業	自転車	少子化により、新入学通学用自転車は過去30年以上さかのぼってみても最低の販売台数となった。ユーザーへの納品も終わりにさしかかった3月中旬以後、自転車と原付バイクの両方を扱うショップに50CC以下の原動機付自転車（ミニバイク、スクーター）の問い合わせが増加した。昨年10月末に50CC以下のエンジン車は生産終了で品薄状態の中、11月から排ガス規制が強化された原付は、ホンダの4車種と新たにヤマハ発動機の排気量124CCバイクが主流となっている。従来の「50CC以下」の後継として生産され、春からの通勤・通学の生活の足として需要が見込まれている。また、宅配業者に関しては電動車への切り替えも検討中とのことで、転換点を迎えている。
	電器	先月に続き商品の動きは静かな月であった。年度末にしては移動や転勤などで小売家電などの動きがあってもよかったが、あまり問合せなども少なかったように思う。あと発注した商品の納期について、今まではメーカー在庫があれば即日出荷して頂いていた商品の配送が毎日ではなくなったので、即納できる感じが無くなってきている。今後の世界情勢でまた価格が変わってくるのではないかと不安である。
	石油	官公需単価の見直しについて、中東情勢緊迫による原油価格の急騰を受け、三重県と三重県警本部に対し、契約単価の見直しを緊急に申し入れた。官公需の契約単価は、県が県内10地区ごとに市場単価を調査し、平均単価を採用し、県警本部は石油情報センターの調査価格が採用され、毎月見直されている。今回の原油価格急騰を反映させなければ、組合員にとって著しい不利益が生じることとなる。三重県も県警本部も17日から単価を見直した契約単価となった。
	スポーツ	新学期に向けての準備に追われているが、少子化により県立高校の入学者が激減している状況である。再募集をかけても一人も受験者がいない学校も多々あり、各店の苦境が続いている。
商店街	熊野市	下旬頃からインバウンドを含めた観光客が徐々に増えてきている。また市が取り組むスポーツ交流事業でもある大学生のソフトボール大会も開かれ、多くの学生が訪れ宿泊業や飲食店が賑わいをみせた。商店街が取り組む朝市イベントはこの月は集客イベントがないこともあり、他の月より集客が少なかった。今後は集客を増やすための新たなイベントを考える必要もあると感じる。
サービス業	旅館	少しずつではあるが業績は戻りつつあったが、昨今の石油供給不安とガソリン類の値上がりにより、マイカー利用の減少傾向等客足が遠くなったようである。解決が遅れると5月のGWにも影響が及ぶことが心配である。業績は対前年同月比110%、2019年同月比も80%程度であった。
	警備	官公庁の決算締切りが早く、従来のように月末ぎりぎりまでの稼働が少なくなった。じり貧しているように思える。
建設業	総合工事業	2025年2月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて大きく減少した。内訳は国、県市町のいずれも大幅な発注量の減となっている。4月から月末までの県内企業の通期の請負額合計は前年度比で、1月までは2%の微減であったものが、2月末までは約8%減となり大きく減少となった。
	内装工事業	3月は対前年同月の売上が非常に高かったため、その分大幅なマイナスで最悪の結果となった。新年度に期待したいが物価高による買い控え、さらには国際情勢の不安感がさらに最悪の事態にならないか危惧している。
	電気工事	当組合の組合員数は、昨年度末455事業所であったが、青年部員を中心とした積極的な加入拡大活動と組合員の地道な声掛けにより、3月末現在458事業所と3事業所の増となった。(8事業所加入、5事業所脱退)。組合員数の減少は、ひとり親方の高齢化で後継者がいないことによる廃業が主な要因である。昭和の時代をピークに年々減少しており、毎年おおよそ10事業所程度減少してきたが、何十年ぶりに増となった。
	水道工事業（亀山市）	亀山市からの業務委託については事故なく今年度も完了した。全体的に漏水の件数が減少しているため昨年比では減少だと思われる。また、石油の輸入が入らないため、建設資材等の納入時期もわからず、また、資材価格の上昇も上げ幅がわからず、見積等に苦慮している。年度が始まったばかりだが、不安定な状況が続くそうである。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
----------	-----------------------	--

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品製造業	組合運営のアドバイス、サポートに感謝しております。
食料品	製麺	今後、伊勢うどんの品評会を開催できる取り組みにしていくために役員と協議し、いつごろにするのかを決定するよう取り組んでいくので、また、相談にのってほしい。
小売業	石油	原油の輸入量を安定させ、価格の高騰が一段落するまでは、引き続き緊急的激変緩和措置の継続を強く要望する。
一般機器	四日市市	賃上げ、社会保険料の増加などなかなか収益の改善が難しい状況は続いているが、昨年に比べ仕事量は増えてきていると感じる。業界全体が厳しい中、販売価格を上げていく努力が必要だと感じる。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう支援をよろしくお願いいたします。
サービス業	旅館	石油製品の値上がりにより売上げに対して水道高熱費の割合が大きい宿泊業にとっては大打撃である。この値上がりに対する補助金等の助成を早急をお願いしたい。最近発表された津市のように自治体単独の施策なのかは不明ですが早い対応をお願いします。